

健やがぐんま

vol. 30
2020 Autumn

P2-3 リレー・フォー・ライフ・ジャパン
2020ぐんま 開催報告

P4-5 応援リレー動画 ぐんま
「つながろう がんに負けない
いのちのリレー」

P6-8 財団からのお知らせ

- ・群馬県健康福祉部長を表敬訪問しました
- ・群馬県がん患者団体連絡協議会が
2020年度「日本対がん協会賞」を受賞しました
- ・「リモート保健指導」始めました
- ・新型コロナウイルスのPCR検査（陰性証明書の発行）のご案内
- ・各種キャンペーンを実施しました
- ・令和2年度 第8回群馬県地域保健研究発表会を開催します
- ・群馬県がん患者団体連絡協議会 ご紹介③
(1.2の3で温泉に入る会ぐんま)



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020ぐんま 開催報告

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやそのご家族を支援し、がん征圧を目指すチャリティイベントです。「がん患者は24時間、病気と向き合っている」という想いを共有し、ともに歩き語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいとするこのイベントは、現在、世界約30カ国約6,000カ所で開催、日本では50カ所で開催されています。

群馬県では、2013年に初めて開催されて以降、患者会や病院関係者だけでなく、一般の方々にも広がりつつあり、現在では、参加者、寄付額ともに日本有数の規模となっています。

7回目となるはずだった昨年は、過去最多の94のチームが参加して、盛大に開催される予定でしたが、台風19号の接近を受け、直前でやむなく開催中止となってしまいました。

新しい年が明け、「今年こそ」と意気込む私たちを待っていたのは、新型コロナウイルス感染症の流行でした。皆で集い、励まし合おうというのが、リレーフォーライフイベントですが、新型コロナウイルス感染対策としては「3密」は御法度。しかも高齢者や免疫力の低下しているの方々にとっては、特に細心の注意が必要です。

そんな状況下でも、「ささやかでもルミナリエの灯をともし、想いをつなぎたい」として、行われたのが、ルミナリエ点灯イベントと群馬県庁ライトアップでした。

サバイバー支援と、がん征圧の想いがつまったルミナリエの灯をともし、その様子はSNSでも生配信されました。

会場に集えなくても、離れたところから、SNSを通じて、多くの人にルミナリエの灯や、エンプティテーブルのセレモニー、県庁を照らすパープルの明かりをご覧いただけたのではないのでしょうか。



ご挨拶 (ルミナリエ点灯イベント 9.25 開会式より)

皆さん、こんばんは。リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会委員長の大島です。ルミナリエ点灯イベントの開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

群馬のリレー・フォー・ライフは、2013年に、県民の皆様方の多大なる支援をいただき第1回を開催して以来、回を重ねるごとに大きな大会となり、国内で開催されるリレー・フォー・ライフの中でも屈指の大会に成長しました。しかし、今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リレー・フォー・ライフの中心事業であるリレーイベントは、残念ながら中止せざるを得ませんでした。

しかし、皆様方のご理解・ご協力を得て、本日こうしてルミナリエ点灯イベントを開催することができました。7年前、群馬に灯り始めたリレー・フォー・ライフの灯を、今年もつなぐことができ、大変うれしく思っています。

また、リレー・フォー・ライフの本来の主旨である、がん患者支援とチャリティ活動につきましても、皆様のご協力のもと、今年も継続して行うことができいております。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

今日は、YouTubeで生配信もしていますので、ここに来られない方も、この光景をご覧になっていると思います。

ここにいらっしゃる方も、画面を通してご覧になっている方も、心を一つにして、がんを闘う方々のことを思い、がん征圧への誓いを新たに、リレー・フォー・ライフの取組を進めて参りましょう。



RFLJぐんま実行委員会 委員長 大島主好

今年も、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、皆さんで一堂に会することは出来ませんが、たくさんの団体や企業から応援リレー動画の投稿や、募金、御協賛を通じ、御協力、御参加をいただきました。

スタート!!

つながろう がんに負けない いのちのリレー

応援リレー動画 ぐんま 🔍 検索

RFLJぐんま実行委員会 (Message: リレー)

女性がん患者会 ぱるれ (Message: 女性だけで楽しくおしゃべりしています。来てネ)

善衆会病院 (Message: 私たちの看護で皆様を支えます!)

超速戦士 G-FIVE (Message: 笑顔で会える日を楽しみにしています)

公益財団法人群馬県医師会 (Message: お互いを思う気持ちを大切に)

ウクレレロクさんと仲間たち (Message: 新型コロナに負けるなよ!)

群馬県薬剤師会青年部 (Message: 薬剤師にいつでも相談してください。一緒に戦おう!)

群馬中央病院 リレーフォーライフ実行委員会 (Message: 皆で一つになって命のリレーで繋ごう!)

群馬県診療放射線技師会 (Message: また会える日を楽しみにしています!)

群馬パース大学 (Message: どんなときも笑顔忘れずに!)

群馬大学 Flow Orchestra (Message: 音楽でみなさんを応援します!)

群馬県立小児医療センター (Message: たくさんの笑顔にまた会える日を楽しみに!)

子宮卵巣がん患者会 みゆらりっぶ (Message: 子ども達の未来につなげるリレーフォーライフ!!)

群馬県臨床工学技士会 (Message: 臨床工学技士は今後も皆様とともに...)

ぐんま国際アカデミー11年 (Message: すばらしい未来が広がることを願っています!)

ぴあサポぐんま「地域がんサロンぐんま」 (Message: 「地域がんサロンぐんま」は、がん患者さんを応援しています。一緒に歩みましょう)

群馬がん看護研究会 (Message: 来年にお会いできることを願っています。毎日を楽しく過ごしましょう)

サンノーバ株式会社 (Message: スタンプラリーでまたお会い出来るまで心をひとつに!)

群馬県臨床検査技師会 (Message: 離れていても心はひとつ!)

群馬県済生会前橋病院 (Message: がんと向き合うみなさんに寄り添います)

公立館林厚生病院 (Message: 共に生きる心は With You みんな Need You)

群馬大学医学部附属病院 (Message: 常にかん患者の立場にて優しく温かく応援しています!)

SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 (Message: 癌にもコロナにも負けない私達の「絆」)

POLA ふじ季グランドグループ (Message: 私達POLAふじ季グランドグループは美しく輝ける皆さんのために応援します)

群馬県理学療法士協会 (Message: One Step, One Hope)

群馬県立がんセンター (Message: また、来年も一緒に歩きましょう!)

くつろぎ (Message: 共にがん立ち向かっていきましょう!)

群馬大学学生チーム (Message: 誠実な医療者を目指して、勉強に励みます!)

ひまわりの会 (Message: 希望をもって来年にバトンをつなぎましょう!)



財団からのお知らせ

群馬県健康福祉部長を表敬訪問しました

複十字シール運動開始にあたり、令和2年8月4日（火）群馬県地域婦人団体連合会（結核予防婦人会）の関会長他、代表者と財団職員により群馬県健康福祉部武藤部長を表敬訪問しました。

複十字シール運動の趣旨や県内の結核の現状などを説明するとともに、キャンペーンで配布するグッズをお渡しし、複十字シール運動へのご協力をお願いしました。



シールぼうや



群馬県がん患者団体連絡協議会が 2020年度「日本対がん協会賞」を受賞しました

「日本対がん協会賞」は、公益財団法人日本対がん協会が、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的として、対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰するものです。

毎年9月1日付けで受賞者が発表され、今年は4個人2団体が受賞、その1団体に群馬県健康づくり財団に事務局を置く「群馬県がん患者団体連絡協議会」が受賞しました。

2010年に群馬県がん対策推進条例が制定される際に、同協議会は患者、家族、支援者それぞれの立場からの要望書を取りまとめ陳情し、条例実現の原動力となったこと、また2013年に始まったチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま」において運営の中心的役割を担っていることなどが評価され、今回の受賞となりました。

表彰式は、9月18日（金）朝日新聞東京本社で開催された「がん征圧全国大会」において執り行われ、大島主好会長が出席されました。



「リモート保健指導」 始まりました

当財団では、コロナ禍でも安心・安全に保健指導を行う環境整備のひとつとして、ICT（情報通信技術）を活用したリモート保健指導を10月から開始しました。

従来の対面による保健指導では、対象者とのソーシャルディスタンスを確保することが難しく、時間も30分程度を要することもあり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リモートによる保健指導が行える環境が整っている事業所を対象に導入することになりました。

当財団健康サポート課では、年間約1,300人以上の方に特定保健指導やその他の保健指導等を実施しています。今回、そのうちの約半数の方の保健指導を対面からリモートに変更する予定です。

リモートにすることで、3密の中の「密接」を回避し、相互の感染リスクをなくすことが期待できます。



(公財) 群馬県健康づくり財団
事業推進部 健康サポート課
電話：027(269)7814
FAX：027(269)7819

新型コロナウイルスのPCR検査(陰性証明書の発行)のご案内

新型コロナウイルス感染症に感染していないことを証明する、「陰性証明書」が必要な方に対して、PCR検査を実施し証明書を発行する事業を始めました。

検査の対象者

- 1 海外渡航の際に、入国先から新型コロナウイルスPCR検査陰性証明書を要求されている方
- 2 教育実習、保育実習、看護実習、介護実習等で受け入れ先から新型コロナウイルスPCR検査陰性証明書を要求されている方

(注) 上記であっても、直近2週間以内に、発熱、呼吸困難、強い倦怠感、風邪の症状、味覚や嗅覚に異常を感じるなど新型コロナウイルス感染症に該当する症状が出ている方、新型コロナウイルス感染症に罹患した者と接触したことが明らかな方は、検査対象としません。

検査の流れ

- 1 当財団に電話でお問い合わせください。
- 2 ご説明したうえで、「新型コロナウイルス検査依頼書」①海外渡航用又は②実習用をお送りいたします。
- 3 内容を記入して頂き、FAXにてお申し込みください。
- 4 財団より電話にて折り返しご連絡し、ご説明したうえで日程を調整します。
- 5 検体採取から3営業日以内で結果報告いたします。

検査方法

唾液によるPCR検査を行います。原則として、ご予約いただいた日時に財団敷地内において、ドライブスルー方式により、車中で唾液を採取します。

なお、学校等で同時に多数の検査のご要望がある場合には、出張による検体採取にも対応します。

検査のお申し込みや、検査料金のご相談など、お気軽にお問合せください。

(公財) 群馬県健康づくり財団
検査部 検査企画課
電話：027(269)7405
FAX：027(269)7805

各種キャンペーンを実施しました

10月の臓器移植普及推進月間に合わせて、臓器移植医療が広く認知され、理解が進むことを目的に、数日間、群馬県庁昭和庁舎と、臨江閣を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップしました。

また、乳がん月間に合わせ、ピンクリボンキャンペーンの一環としても、乳がん検診受診率の向上などを目的として、10月22日(木)～30日(金)の間、臨江閣をピンクリボンカラーのピンク色にライトアップしました。



令和2年度 第8回群馬県地域保健研究発表会を開催します

この会は、研究発表を通じて保健衛生の向上を図り、県民の健康増進に寄与するため、また保健従事者の交流を目的として、毎年群馬県と当財団が主催しています。

詳細が決まり次第、各関係機関にご案内を送付しますのでご覧いただき、ぜひご応募ください。なお、今年度の発表方法等については、決定次第ご案内します。

群馬県がん患者団体連絡協議会 ご紹介③

3 1.2の3で温泉に入る会ぐんま

乳がん経験者は手術の傷跡と共に心にも傷を受けている方が多く、同じ想いで、寄り添って励ましあうことが出来たら、長い治療も明るく前向きに続けられる、1人では尻込みする温泉も、皆で入れば怖くない、これが会の始まりです。

今年は新型コロナウイルス感染予防の為、今のところ活動を自粛していますが、本来でしたら日帰り温泉会や泊りの温泉会、食事会等で親睦を深め情報交換をしています。また、群馬県がん患者団体連絡協議会主催のがん啓発活動や、リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまにも参加し、テントで手作り品を販売し売り上げをリレー・フォー・ライフに寄付するなど楽しく活動しています。



●問い合わせ先 武井 芳恵 TEL: 027-352-0842